



石上神宮楼門―天理市布留町で



(住所) 天理市布留町384  
 (祭神) 布都御魂大神、布留御魂大神、布都斯魂大神  
 (交通) 天理駅からタクシー約10

分、または徒歩約30分  
 (拝観) 境内自由  
 (駐車場) 無料、約200台

## 石上神宮 (天理市)



石上神宮は第十代崇神天皇の時代に創建された日本最古の神社の一つです。武門の棟梁・物部氏の総氏神として健康長寿、病氣平癒、除災招福、百事成就の守護神として信仰されてきました。大和王権が百済王から贈られたと伝わる七支刀(国宝)が描かれた、起

死回生のお守りもよく知られています。

祭神は、神武天皇を助けたとされる霊剣・布都御魂剣に宿る布都御魂大神など。この霊剣の実在は長らく疑われていましたが、剣が埋まっていたとの言い伝えのあった

発掘したところ、その実在が確認されました。毎年6月30日には神剣渡御祭が行われます。布都御魂剣が見つかるまでは、代わりに神庫に伝わる七支刀を掲げて祭りが行われていました。

境内の静寂な森の中で、「石上布留の神杉神びにしわれやさらさら恋に逢ひにける」と、万葉集に詠まれた杉に思いをはせながら、境内を自由に走りまわる御神鶏を目にする、心がなごみます。(奈良まほろばソムリエの会員 谷政樹)

# 神剣祭る日本最古の社

(奈良まほろばソムリエの会員 谷政樹)